

安全データシート（SDS）

1. 製品及び会社情報

製品名 : ステルス
会社名 :
住所 :
担当部署 :
電話番号 :
緊急連絡先 : 同上
FAX番号 :

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性
金属腐食性物質 : 区分1
引火性液体 : 区分3
健康に対する有害性 :
急性毒性（経口） : 区分に該当しない
急性毒性（経皮） : 分類できない
急性毒性（吸入） : 分類できない
皮膚腐食性/刺激性 : 区分1
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 区分1
呼吸器感作性 : 分類できない
皮膚感作性 : 分類できない
生殖細胞変異原性 : 分類できない
発がん性 : 分類できない
生殖毒性 : 分類できない
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露） : 区分2
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露） : 分類できない
誤えん有害性 : 分類できない
環境に対する有害性 :
水生環境有害性 短期（急性） : 分類できない
水生環境有害性 長期（慢性） : 分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険
危険有害性情報 : 金属腐食のおそれ
引火性の液体および蒸気
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
重篤な眼の損傷
呼吸器系に障害のおそれ

注意書き

安全対策

- ： 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。
- 容器を密閉しておくこと。
- 容器を接地すること/アースをとること。
- 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
- 火花を発生させない工具を使用すること。
- 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- 他の容器に移し替えないこと。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- 取扱後はよく洗うこと。
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

救急処置

- ： 皮膚（または髪）に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。
- 火災の場合、消火に粉末消火薬剤、泡消化薬剤、炭酸ガス、砂などを使用すること。
- 物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。
- 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- 皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
- 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ただちに医師に連絡すること。
- 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- 暴露または暴露の懸念がある場合、医師に連絡すること。

保管

- ： 涼しい所/換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- 耐腐食性/耐腐食性内張りのある容器に保管すること。
- 施錠して保管すること。

廃棄

- ： 内容物/容器を関係法令に基づき自社で適正に処理するか、または都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して処理すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分

： 混合物

化学名又は一般名

： 水、水酸化カリウム、有機酸塩、非イオン界面活性剤、エタノール
以上、全て食品添加物に分類

成分及び含有量	： 非公開	
	・ 水酸化カリウム	0～5%含有
	・ エタノール	10～20%含有
官報公示整理番号（化審法）	： 各成分は登録掲載の化学物質	
	・ 水酸化カリウム	(1) -369
	・ エタノール	(2) -202
官報公示整理番号（安衛法）	： 各成分は登録掲載の化学物質	
C A S 番号	： 各成分はリスト掲載の化学物質	
	・ 水酸化カリウム	1310-58-3
	・ エタノール	64-17-5

4. 応急措置

吸入した場合	： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させると。直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	： 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと 皮膚を流水／シャワーで洗うこと。汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合	： 眼に入った場合、水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	： 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
暴露した場合	： 医師の診断／手当てを受けること。
応急措置をする者の保護	： 状況に応じて、適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤	： 粉末消火薬剤、泡消化薬剤、炭酸ガス、砂
使ってはならない消火剤	： 情報なし
特有の消火方法	： 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する 消火作業は、可能な限り風上から行う。 関係者以外は安全な場所に避難させる。 移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。 周囲の設備などに散水して冷却する。 消火の為の放水等により、製品が河川や下水に流出しないよう適切な措置を行う。
消火を行う者の保護	： 消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	： 作業の際には、必ず適切な保護具（手袋、眼鏡等）を着用する。
環境に対する注意事項	： 漏出物が河川、下水道等に排出されないように注意する。
除去方法	： 少量の場合、おが屑、ウエス等に吸収させて、空容器に回収する。 大量の場合、乾燥砂や不燃材料で流出を防止し、空容器に収める。

二次災害の防止策 : 床を濡れた状態で放置すると滑りやすく、スリップ事故の
因となる為注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 取扱い場所の近くに、シャワー、洗眼、手洗いの設備を設
ける。

注意事項 : 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等
粗暴な取扱いをしない。
酸性製品との接触を避ける。

安全取扱い注意事項 : 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。
取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。

保 管

適切な保管条件 : 直射日光を避け、容器を密閉して、冷暗所に保管する。
強酸、金属（アルミニウム、亜鉛、スズ、鉛等）から離し
保管する。

安全な容器包装材料 : 製品使用の容器に準ずる。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 取扱い場所の近くに、シャワー、洗眼、手洗いの設備を設
ける。

管理濃度 : 設定されていない。

許容濃度 : 設定されていない。

保護具

呼吸器用の保護具 : 通常の取扱いでは特に必要ない。

手の保護具 : 耐油性保護手袋

眼の保護具 : 側板付保護眼鏡 又はゴーグル

皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業衣等

適切な衛生対策 : 取扱い後は、手、顔等をよく洗う。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

外観 : 微黄色透明液体

pH : 11.3 (0.5%水溶液)

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

引火点 : 約55℃

比重 : 1.04 (25℃)

溶解性

水に対する溶解性 : 水に易溶

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の条件下では安定

反応性 : 強塩基であり、酸と激しく反応し、亜鉛、アルミニウム、
スズ、鉛などの金属に対して腐食性を示し、引火性/爆発
性気体(水素)を生成する。

アンモニウム塩と反応してアンモニアを生成し、火災の危険をもたらす。

- 避けるべき条件
混蝕危険物質
危険有害な分解生成物
- : 亜鉛、アルミニウム、スズ、鉛などの金属との接触
: 酸、亜鉛・アルミニウム・スズ・鉛などの金属、アンモニウム塩
: 引火性/爆発性気体(水素)、アンモニア

11. 有害性情報

- 急性毒性（経口）
（経皮）
皮膚腐食性/刺激性
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性
呼吸器感作性
皮膚感作性
生殖細胞変異原性
発がん性
生殖毒性
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）
誤えん有害性
- : 情報なし
: 情報なし
: 重篤な皮膚の葉傷（原料より推定）
: 重篤な眼の損傷（原料より推定）
: 情報なし
: 情報なし
: 情報なし
: 情報なし
: 情報なし
: 呼吸器系に障害のおそれ（原料より推定）
: 情報なし
: 情報なし

12. 環境影響情報

- 生態毒性
残留性/分解性
生体蓄積性
- : 情報なし
: 情報なし
: 情報なし

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物
汚染容器及び包装
- : 関係法令に基づき自社で適正に処理するか、又は都道府県事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して処する。
: 汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

- 国内法規制 陸上輸送
海上輸送
航空輸送
国連番号
クラス
輸送の特定の安全対策及び条件
- : 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
: 航空法に定められている運送方法に従う。
: 1814
: 8
: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等が無いことを確認する転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確に行う。

15. 適用法令

国内的用法

化審法	： 該当しない
消防法	： 該当しない
安衛法 危険物	： 引火性の物
表示/通知対象物質	： ・水酸化カリウム ・エタノール
毒物劇物取締法	： 該当しない
船舶安全法	： 腐食性物質（危規則第3条危険物告示別表第1）
航空法	： 腐食性物質（施行規則第194条危険物告示別表第1）
化学物質管理促進法（PRTR法）	： 該当しない
海洋汚染防止法	： 有害液体物質（Y類物質）（施行令別表第1）

16. その他の情報

- ・この製品安全データシートは、入手できた情報や原料メーカーの知見によって作成したものです。化学品には未知の有害性が有り得る為、全ての安全性を保証するものではありません。
- ・危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。
- ・注意事項は本製品の通常の見扱いを対象としたものです。特別な取扱いをされる場合は、用途・用法に適した安全対策の上でお取扱いをお願いします。
- ・本製品は、この製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱って下さい。